

**図面問題説明会が開催された**

図面承認遅延問題に対応した取り組みの一環として、全構協はファブが発注者と対等な立場で交渉できるように、知っておくべき内容を整理し、これまで曖昧だった図面に関する細かな取り決めごとを「見積条件書特記事項」の中に明文化し、見積書に添付してあらかじめ合意を得ることとし、各都道府県組合に対し、組合員が4月から一斉に使用を開始するように要請した。それを踏まえて、3月7日（金）午後、かながわ県民センターで「ファブを守る鉄骨製作図の契約と法令」をテーマとする説明会を開催した。

石井理事長が「契約編」、辻副理事長が「法令編」の講師を務めた。石井理事長は全構協が統一書式として作成した「見積条件書特記事項」及び関係者間で作業工程を共有する「もの決め工程表」について解説し、辻副理事長は弱い立場の下請け業者を保護する「建設業法」「下請法」「独占禁止法」などについて説明するとともに、自社で採用している作業工程表を参考事例として紹介した。

受講者は21社25名であった。



なお、当日欠席された組合員には、全構協作成の3冊子（「契約編」「法令編」「説明会資料」）を郵送した。また、全構協ホームページの画面添付バナー（一番下の一番左です）にある「ファブを守る鉄骨製作図の契約と法令」というコンテンツの中に上記冊子と、全構協の各支部単位で行った説明会の解説動画が掲載されているので、説明会に欠席された組合員は動画をご覧ください。コンテンツに入るためのIDとパスワードは組合にお問い合わせください。

**全国Mグレード部会連絡協議会が工場見学を実施**

標記協議会が、コロナ禍の影響でここ数年開催できなかった研修会、工場見学及び交流会等々の活動を本年度より再開した。

3月14日（金）、千葉県市川市に所在する丸一鋼管株式会社東京工場を見学し、オークラ千葉ホテルに会場を移し交流会及び親睦会を開催した。

丸一鋼管株式会社は主に鋼管（丸パイプ・角形鋼管）を製造している会社で、東京工場は月産3,500tの生産能力がある。40分程度、非常に綺麗な工場を見学させていただき、その後20分程度の質疑応答があった。協議会側の参加者は、



神奈川4名、東京3名、千葉3名、長野6名、事務局等2名の計18名であった。

交流会では、主に人材確保が話題となり、各ファブから「特定技能を活用しているところは意外に少ない」「新卒者の応募がない」など現状や課題の情報交換をした。



その後、堀川全国M会長のご挨拶、高木長野M会長のご乾杯のご発声で親睦会が始まり、懇親を深めた。

参加者は徐々に増え、親睦会では総勢27名となり、盛況であった。



**総会のお知らせ 令和7年5月22日（木）午後、HOTEL PLUMMIにて。賛助会員との交流会も開催！**

**役員会だより（3月19日、ハイブリッド形式により開催）**

組合員の(株)相模鉄工所、(株)SK-PERFORMANCE、(有)小川工業所の3社から脱退届が提出され、いずれも令和7年3月末をもって脱退することが承認された。なお、(株)SK-PERFORMANCEは(株)日向鐵工の厚木事業所となり、摩庭一修氏は専務取締役役に就任した。（既報）

また、前回の役員会（2月27日、ハイブリッド形式により開催）において、組合への加入を希望する1社の加入が承認された。

**【千葉スチール工業株式会社】**

所在地：埼玉県秩父郡長瀬町大字野上下郷2122-7

TEL：0494-66-1562 FAX：0494-66-1890

代表取締役：千葉敏久

事業内容：建築鉄骨

初めての埼玉県に所在する組合員です。横浜支部に加入していただきます。

上記脱退と加入により、4月1日の組合数は45です。

代表者人事 6年12月 株式会社相磯鉄工所（真鶴町） 相磯礼子氏（代表取締役）（相磯義一氏ご逝去）